

第3次

胎内市男女共同参画プラン21

令和6年度 事業進行管理シート

胎内市 総務課

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり	
具体的施策:	①	男女共同参画に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し男女平等の意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
1	男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	年に1回以上
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
家庭・地域・職場における男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

<p>実施・成果のデータ</p> <p>※事業担当課が事後記入</p>	<p>○パネル展</p> <p>6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー</p> <p>8月6日(火) 産業文化会館</p> <p>8月22日(木) 産業文化会館</p> <p>10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内)</p> <p>○講演会</p> <p>・8月6日(火)</p> <p>タイトル:【私らしく、自分らしく、ありのままに～だれもがどれも選べる社会に～】</p> <p>講師:三遊亭 藍馬 氏</p> <p>参加者:186名</p> <p>年代別内訳:20代以下 4.6%、30代 10.6%、40代 0%、50代 0%、60代 0%、70代 84.8%、無回答 0%</p>
<p>検証</p> <p>※事業担当課が事後記入</p>	<p>推進事業の達成度</p> <p>できた (8割以上)</p> <p>講演会では、186名の方に来場をいただいた。</p> <p>アンケートから、【講演会に参加して「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。】の問いについて、72.2%の方から反対の回答を得た。</p> <p>講師からは、長く男性社会が続いた伝統芸能の世界で「女なんて」という偏見と反発がある中で性別に関係なく自分らしく生きる大切さを学ぶことができました。</p>

【委員会の評価】

<p>・参加者数だけでなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)</p>

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり
施策の方向:	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり
	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発
具体的施策:	②	市報等を通じて、男女平等に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。
	②	市報等を通じて、固定的性別役割分担意識・社会的慣習を見直すための情報発信を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
	市報等を通じて、固定的性別役割分担意識・社会的慣習を見直すための情報及び男女共同参画に関する情報を掲載し、正しい知識の普及啓発に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○市報たいない2月1日号への掲載 【男女共同参画情報 ウィズ (WITH) ～ともに生きる～】 内容 ・ご存じですか? 「オールド・ボーイズ・ネットワーク (OBN) 」 ・「オールド・ボーイズ・ネットワーク」チェック!	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた (8割以上)
	今年度は、「オールド・ボーイズ・ネットワーク (OBN) 」について取り上げた。内閣府男女共同参画局の広報誌「共同参画」やNHK (WEB) でも取り上げられており、現在注目されている問題を市民へ啓発できた。男女共同参画についての課題を分かり易く伝えることができたよいテーマだったと思う。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施 (前) に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施 (後) に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発	
具体的施策:	①	固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良くと思う市民の割合	72.3%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館 10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内) ○講演会 ・8月6日(火) タイトル:【私らしく、自分らしく、ありのままに ～だれもがどれも選べる社会に～】 講師:三遊亭 藍馬 氏 参加者:186名 年代別内訳:20代以下 4.6%、30代 10.6%、40代 0%、50代 0%、60代 0%、70代 84.8%、無回答 0%	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 講演会では、186名の方に来場をいただいた。 アンケートから、「講演会に参加して人権問題について関心や理解は深まりましたか」の問いについて、70.2%の方から深まった旨の回答を得た。 講師からは、長く男性社会が続いた伝統芸能の世界で「女なんて」という偏見と反発がある中で性別に関係なく自分らしく生きる大切さを学ぶことができました。	できた (8割以上)

【委員会の評価】

・参加者数だけでなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)
--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策:	①	講演会やセミナー、パネル展を通して、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の普及・啓発のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展</p> <p>6月10日（月）～6月13日（木）市役所ロビー</p> <p>8月6日（火）産業文化会館</p> <p>8月22日（木）産業文化会館</p> <p>○市報</p> <p>5月1日号【人権コラム】～多様な性を考えてみませんか～</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 おおむねできた（6～7割程度）</p> <p>男女共同参画パネル展にLGBTQ（性的マイノリティ）の啓発を行った。「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（LGBT理解増進法）についても継続して啓発していきたい。</p>

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を実施して、より市民の理解を深めていくとよいと思う。(R5) ・開催期間や場所などの詳細を記入した方がよい。(R6)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向:	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策:	②	市報等を通じて、性の多様性について情報発信を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて性の多様性に関する情報発信を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ○市報 ・ 5月1日号【人権コラム】～多様な性を考えてみませんか～ ○HP ・ 胎内市ホームページにおいてLGBTQ（性的マイノリティ）についてを掲載中 ○その他 ・ 胎内市パートナーシップ制度の施行（令和6年9月2日）
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">推進事業の達成度 おおむねできた（6～7割程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市報へ【人権コラム】として特集記事を作成した。 ・ LGBTQ（性的マイノリティ）については、ホームページでの啓発を継続している。 ・ 令和6年度はLGBTQ（性的マイノリティ）の理解促進の一步として胎内市パートナーシップ制度を施行した。また、「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」へも加入し、県や他市町村と連携をしている。引き続き啓発をしていきたい。

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3) ・ 啓発の内容を記載した方がよい。(R5)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(1) 保育園（こども園）・学校における男女平等の推進		
具体的施策：	①	保育園、こども園において、乳幼児一人ひとりが安心して自己発揮できる環境作りに努め、日々の教育・保育を通して、固定的役割分担意識にとらわれない保育を実施します。	
	②	保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における、男女平等意識を育む保育・教育	事業の対象
保育園・こども園において、男女平等教育を視点とした保育・教育に努める。		乳幼児

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保育園、こども園において、 ・保育過程、年間指導計画、月間・週間指導計画、個別の経過記録等に基づき、年齢ごとの発達段階、個々の発達段階に沿った保育を実施した。 ・遊びを充実させるための環境を日々構成し、友だちとのかかわりを通して培われていく心の育ちを大切にされた保育を実施した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた (8割以上)
・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながる。一人ひとりの個性を尊重した保育を行うことができた。		

【委員会の評価】

・幼児から小学校の時期に性差による差別があってはならないことを教育する。お互いに協力し合うということが前提。親、保護者よりも子どもたちへの教育が必要と思う。(R3) ・親、保護者への啓発は難しいと思うが、こどもは親の意見が反映されるので大切である。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向:	(1)	保育園(こども園)・学校における男女平等の推進	
具体的施策:	②	保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。	
	③	学校において、男女平等の視点を基盤に、子どもたちが自立して生きる力を育む教育の充実に努めます。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	キャリア教育推進事業	事業の対象
性別による固定的役割分担意識にとらわれず、夢や希望をかなえるために自立して生きる力を育む体験活動の機会を設定する。		生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 「将来の夢や目標をもっている」と答える子どもの割合を85%以上にする」というキャリア教育の成果目標に対する数値は81%であった。 10月9日(木)に「1年生の職ナビゲーション」を実施した。(参加者約300名) 市内小中学校では、児童生徒の発達適性に応じて「キャリアパスポート」を活用した。 市内全中学校の2年生が職場体験学習を実施した。 2月に「胎内市キャリア教育推進協議会」を実施した。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた(6~7割程度)
	<ul style="list-style-type: none"> 「将来の夢や目標をもっている」と答える子どもの割合が、学年が上がると低くなる傾向が見られるが、様々な職業に触れる経験を通して、より自分の進むべき方向を真剣に考えている姿であると捉えている。 「中学1年生の職ナビゲーション」は、15事業所の協力を得て、ブースを開設することができた。企業の工夫や働く人のやりがいを感じ取り、自分の将来を改めて見つめ直すよい機会となっており、性差にとらわれずに職業を選択できるという意識の醸成につながっている。 	

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 職ナビはコロナ禍であったがよい取組だと感じる。継続してほしい。(R3) 「職ナビゲーション」「キャリア・パスポート」には男女平等の概念がどう盛り込まれているかがわかるように記載するとよい。(R3) 幼児から小学校の時期に性差による差別があってはならないことを教育する。お互いに協力し合うということが前提。親、保護者よりも子どもたちへの教育が必要と思う。(R3) 親、保護者への啓発は難しいと思うが、こどもは親の意見が反映されるので大切である。(R3) こども達に対しても大切だが、先生方の意識改革や行動変容もとても重要である。働き方改革が叫ばれている中、厳しい職場環境に対する整備や就業に関する意識改革など、取組をすすめていただき、本シートにも盛り込んでいただきたい。(R4) 様々な事業や活動を男女共同参画の視点でどうだったのかを記載するとよい。

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策:	①	保育士・教職員等に対し、職員研修の一環として男女平等教育の必要性について研修機会を提供します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育士の研修参加	事業の対象
保育士に対して、男女共同参画事業に関する研修会への参加を促し、男女平等教育の必要性や理解を求める機会を提供する。		保育士

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保育園、こども園において、 ・保育過程、年間指導計画、月間・週間指導計画、個別の経過記録等に基づき、年齢ごとの発達段階、個々の発達段階に沿った保育を実施した。 ・遊びを充実させるための環境を日々構成し、友だちとのかかわりを通して培われていく心の育ちを大切にされた保育を実施した。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた (8割以上) ・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながる。一人ひとりの個性を尊重した保育を行うことができた。

【委員会の評価】

・保育士も小・中学校教員のように男女共同参画の研修会に参加していくとよいと思う。(R5)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策:	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における保護者会・学級懇談会	事業の対象
子どもたちが性別にとわられない考え方を育み、男女共同参画社会を実現していくために、最も身近な存在である保護者を対象として、保護者会や学級懇談会を実施し、男女平等に関する情報提供を行い、普及を図る。		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、こども園において、 ・保育過程、年間指導計画、月間・週間指導計画、個別の経過記録等に基づき、年齢ごとの発達段階、個々の発達段階に沿った保育を実施した。 ・遊びを充実させるための環境を日々構成し、友だちとのかかわりを通して培われていく心の育ちを大切にされた保育を実施した。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">できた (8割以上)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながる。一人ひとりの個性を尊重した保育を行うことができた。

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・進路や成績のことなら足を運んでも、会への出席は難しいのではないかと。お便り、広報誌の活用を促された。(R3) ・【実施・成果データ】を具体的に記載した方がよい。(R6)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園におけるおたよりの発行	事業の対象
保護者向けにおたよりを発行し、男女平等に関する情報発信を行い、普及を図る。 園だより・学級だより：随時		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・定期的に保護者向けに園だより等で情報を発信した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割)
	・保護者向けのお便りでは、母親のイラストだけではなく、父親のイラストを入れるなど工夫をすることによりイラストによる先入観をなくした。	

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりにおける男女平等に関する情報発信については、具体的な内容がないと評価しづらい。(R3) ・【実施・成果データ】を具体的に記載した方がよい。(R6)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良くと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保護者に対する男女平等意識の啓発	事業の対象
保護者会や各種便り、ホームページ等の活用を通して、男女平等や人権の尊重についての周知と啓発を図る。		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教科「道徳」や体育（保健体育領域）をはじめとする教科・領域等を含めた教育活動全体を通して、「性別に関係なく一人の人間として尊重することの大切さ」について学ぶ機会を意図的・計画的に設け、継続的に行ってきた。 ・市内各小・中学校では、各種たよりや研修会を通して男女共同参画に関する啓発を行ってきた。 ・中学校では性差に関係なく制服を選択できる雰囲気が醸成されている。 		
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>おおむねできた (6~7割程度)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・校種や学校間で取組に格差が生じないようにするとともに、児童生徒の発達段階に応じた指導が、意図的・継続的かつ適切に行われるよう、校長会等を通じて学校へ働きかけていく。 ・LGBTQや外国にルーツのある児童生徒に関する事など、児童生徒を取り巻く新たな人権課題について、学びの機会や情報提供を積極的に行っていく。 	おおむねできた (6~7割程度)	
おおむねできた (6~7割程度)			

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりにおける男女平等に関する情報発信については、具体的な内容がないと評価しづらい。(R3) ・進路や成績のことなら足を運んでも、会への出席は難しいのではないかと。お便り、広報誌の活用を促されたい。(R3) ・参観日に合わせて、たとえば総合や道徳の授業で、ジェンダーの話をする等を検討されてみてはどうか。(R3) ・小、中学校において、LGBTQの取組は前向きだと感じる。(R5) ・LGBTQの講演について、市内すべての小・中学校で取り組めるとよいと思う。(R5)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標:	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向:	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策:	③	教職員の校務分掌や研究会等において、性別による固定的な役割分担とならないように、男女平等の視点による指導を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	教職員に対する職員研修の実施	事業の対象
研修計画に基づいた教職員への人権に関わる研修会等を通して、人権の尊重、男女平等教育の重要性について周知並びに啓発を図る。		教職員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校の女性管理職の割合は、約18%である。校・園務分掌も性差に関係なく、「適材適所」で決めるように、管理職や校長会等を通して働きかけてきた。また、男性教職員の育児休暇取得者も増えてきている。 校内に非違行為根絶研修の中に「パワハラ予防・防止」の項目を適切に位置付け、人権尊重の精神を育むようにしてきた。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度</p> <p style="text-align: center;">できた (8割以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修や管理職等への研修を通して、引き続き、男女共同参画の意義と重要性について理解を深め、自ら率先垂範できるように態度の肝要に努めていく。

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 実施した人権研修会について講師や内容なども記載してもらいたい。(R3) 検証の「今後も、一人一人の…人権を尊重する視点をもってもらえるような教育実践を継続する」の具体的な内容の記載があるとよいと思う。(R5) 教育委員会で研修等を提案していくのはどうか。(R5) 学校でLGBTQについての担当者を置いて、力を入れていくのはどうか。(R5) 施策に対して、【実施・成果のデータ】【検証】が弱いと感じる。

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進
施策の方向：	(1)	職場・各種団体等の方針決定の場への女性の参画促進
具体的施策：	①	講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発します。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
7	企業向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
企業、団体等に対し、講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発する。		企業、団体等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展</p> <p>6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー</p> <p>8月6日(火) 産業文化会館</p> <p>8月22日(木) 産業文化会館</p> <p>10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内)</p> <p>○市報</p> <p>県や女性財団が主催するセミナー等を市報へ掲載した。(随時)</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度</p> <p>できた(8割以上)</p> <p>男女共同参画パネルについて、昨年に引き続き「男女がともに働きやすい職場環境づくり等の取り組み」パネルをハッピー・パートナー企業から作成いただき、展示した。特に「親子ふれあい広場」においてハッピーパートナー企業のパネルを男性の方がじっくり観ていた方が多くみられたので、次回も展示していきたい。</p>

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向：	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用	
具体的施策：	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	審議会等への女性委員の積極的登用	事業の対象
市所管の審議会等における女性委員の積極的登用を推進する。		審議会等委員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○胎内市職員研修会 11月14日(木)「女性活躍の必要性・現状と課題」 講師：畠山 典子 氏 (公益財団法人 新潟県女性財団 理事長) 参加者：20名 (胎内市男女共同参画庁内推進委員 ほか)	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割)
最終目標の「各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等」を達成するために、各課より選出した「胎内市男女共同参画庁内推進委員」へ女性活躍の必要性と現状について研修会を実施した。各課の職員一人ひとりが現状を理解し、各業務で男女共同参画の意識を持って取り組めるように今後も啓発していきたい。		

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・女性ゼロの審議会などの現在地も記載してもらいたい。(R3) ・なかなか改善しない一番の課題なども記入してもらいたい。(R3) ・現在の女性割合を計算するだけでなく、設定した目標値に達しない原因をしっかりと見定める事業を展開してはどうか。(R3) ・各課の担当者に働きかけるなど、直接もう一声声掛けなどがあるとよい。(R4)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標:	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向:	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用	
具体的施策:	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	女性委員登用状況の調査	事業の対象
市所管の審議会等における女性委員の割合を毎年調査しホームページ等で公表する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

<p>実施・成果のデータ</p> <p>※事業担当課が事後記入</p>	<p>令和7年3月31日 現在</p> <p>○市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数：9件 (R5：11件)</p> <p>・審議会数：56件 うち女性委員のいる審議会等数：47件</p> <p>○女性委員の登用割合 34.3% (R5：34.1%)</p> <p>・総委員数：685人 うち女性委員数：235人</p> <p>令和7年度「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」</p>
<p>検証</p> <p>※事業担当課が事後記入</p>	<p>推進事業の達成度 あまりできなかった (4~5割)</p> <p>・数値について、毎年増加傾向ではあるが目標を達成できなかった。女性が0人の審議会等は規則等で委員が充て職になっていることが主な原因となっている。審議会を担当する職員一人ひとりの意識や気付きが改善へ繋がると思う。第4次計画に課題を引継ぎ、取り組んでいきたい。</p> <p>・上記情報を男女共同参画局や胎内市総合計画関係ページだけでなく、男女共同参画関係ページ作成に取り組んでいきたい。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標:	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向:	(1)	女性人材の育成と起業支援
	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策:	①	女性農業者フォーラムなどへの参加を促し、農業経営等に関する知識習得の場の提供に努めます。
	②	交流活動を通じて女性農業者同士のネットワークの形成を図り、地域のリーダーの育成に努めます。
	③	農業生産技術や経営に関する研修と交流機会の情報提供に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
10	農女子視察研修ツアー、農村女性”知恵のわ”フォーラム及び農業とくらしを考える女性のつどいの参加者数の合計	98人	100人

【事業名・内容】

事業名	農村女性政策	事業の対象
女性農業者を対象に、視察研修ツアーや講習会、農業とくらしを考える女性のつどいへの参加を通し農業経営等に関する知識習得の場や、女性農業者同士のネットワークの形成を図れる機会を提供する。		女性農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>合同フォーラムは、令和2年度より開催中止となっている。(県主催) (新型コロナウイルス感染症予防のため中止となっていたが、再開はしていない。)</p> <p>(実施データ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 「胎内市農業女性 燕市、三条市視察研修」 実施日 令和7年10月4日 参加者 19名 内容 「どんぐりクラフトづくり講習会」 実施日 令和7年11月14日 参加者 16名 <p>(成果データ)</p> <p>60代、70代の参加が多いが、40代の参加も増えてきた。</p>	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>できた (8割以上)</td> </tr> </table> <p>アンケート結果から、異年代と交流でき農業等について知識の習得できたとの意見も出ていた。今後も胎内市農村地域生活アドバイザー、JA北新潟胎内地区女性部や農業委員、地域おこし協力隊などと連携し講習会等計画していく。</p>	できた (8割以上)
できた (8割以上)		

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> 参加者数だけではなく、例えば年齢などもデータ化するとよいのではないか。(R3) 活躍している女性農家と連携して、さまざまな事業を推進していただきたい。(R4) 女性農業者対象のセミナーや視察研修について、人権啓発係と連携して広く市民に周知するとよいと思う。(「知っていれば行きたかった」と思う人もいられる)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(1)	女性人材の育成と起業支援	
具体的施策：	③	市の中小企業支援事業及び貸付事業等の支援事業の周知に努め、女性が積極的に活用、または対象となることができるよう促します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	商工業等自営業における女性の起業及び経営支援	事業の対象
市の中小企業支援事業や国・県および関係機関等の支援事業を周知して活用を促しながら、商工会等と連携して女性の起業に関する実務や創業後の経営に関する支援を行う。		女性経営者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等支援事業補助金（始める支援事業）を活用した女性経営者 1件 ・「胎内市創業セミナー」女性の参加者 8人 	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度</p> <p>開業時に利用できる「胎内市中小企業等支援事業補助金（始める支援事業）」の申請のうち女性経営者は1件だった。また、開業を予定している・開業して間もない事業主を対象として商工会と連携して開催した「胎内市創業セミナー」に15人が参加し、そのうち女性は8人だった。</p> <p>いずれの事業においても、実績の半数以上が女性経営者だったことから、今後も引き続き商工会と連携して支援を行っていきたい。</p>	できた (8割以上)

【委員会の評価】

・支援内容について、それぞれ概要の説明があるとよい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向：	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策：	①	農業体験等での学びを通じて農業に興味を持ってもらえるように努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	ふるさと体験学習推進事業	事業の対象
市内小学生を対象に市民の民家に泊めて農村生活体験の機会を提供する。		小学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>新型コロナウイルス禍により、事業が3年間ストップしていたが、令和6年度はきのと小学校が2泊3日で集団泊及び農泊を実施。その他の4小学校では1泊を集団泊で農泊はせず1泊3日で事業が復活した。</p> <p>(実績) 市内小学校5学年 5校 児童数 225人</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 できた (8割以上)</p> <p>本事業の体験活動は、ほぼウイルス禍前と同じ対応が可能となったが、農家民泊については受入先の軒数が10軒程度であるため、40人程度の児童規模の学校の受入しかできない状況である。しかし、数軒ではあるが新規受入世帯の獲得にも成功していることから、引き続き創意工夫を重ね、農泊受入民家の軒数の増加に向けた取組を進めていく。</p> <p>本事業は実施する児童が男女協力しなければできない活動もあるため、共同参画の趣旨が充分盛り込まれているものとする。</p>

【委員会の評価】

- ・農家の方にもプランにおける位置づけが伝わるよう取り組んでもらいたい。(R3)
- ・農家体験を推進するのは良い事だと思うが、男女共同参画の主旨がどう盛り込まれているのか、もう少し記載があると良い。(R4)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	II あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標:	2 農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向:	(2) 次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策:	② 家族経営協定制度の周知により、就農の促進に向けた意識啓発に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	家族経営協定	事業の対象
協定締結の推進のため、家族経営や今後経営移譲をしようとする農業者からの相談があった際に制度の周知を行う。また、認定農業者の支部集会及び関係団体等の会合の場で情報提供を行う。		農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	家族経営協定締結農家数：36件（増減なし）
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">推進事業の達成度</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">できた (8割以上)</div> <p>締結農家数に増減はないが、農業者から相談があった場合や認定農業者会等の会合の場で継続的に情報提供を行う。</p>

【委員会の評価】

・総会を通じて役員の方にお知らせするのも大事だと思うが、オンラインなど何らかの形で直接農家に働きかける機会があれば、もっと推進されていくのではないかと。(R4)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	II あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	2 農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向：	(2) 次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策：	④ 市報等を通じて、事業承継に係る支援事業の周知と積極的な活用を促すとともに、関係機関と連携して積極的な人材育成に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	企業や団体における意識の啓発・醸成	事業の対象
企業や団体等に対しセミナー等の開催を周知して啓発を図るとともに、事業主・雇用主に対して自らセミナー等を開催することにより意識の醸成を図るよう促す。		事業主・雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業等支援事業補助金（育てる支援事業）を活用しセミナーを開催した件数 1件 ・ 男女共同参画に関するセミナー等の情報提供（メルマガ） 1回 ・ 男女共同参画に関するセミナー等の情報提供（チラシ掲示等） 複数回
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度 おおむねできた (6~7割程度)</p> <p>男女共同参画に関するセミナー等の情報提供についてはメルマガで配信しつつ、来庁者の目に留まりやすい場所にポスターやチラシを掲示するなど、周知を工夫した。</p> <p>中小企業等支援事業補助金（育てる支援事業）を活用して自社の社員向けにセミナーを行った事業者が1件あったが、さらに活用しやすいように制度内容も適宜見直していきたい。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	生涯学習課
	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向：	(1)	地域活動への男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	講演会やパネル展を通して市民一人ひとりの男女共同参画意識の高揚を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	市民講座	事業の対象
身近なテーマについて講座を開催し、各地区公民館と連携しながら男女共同参画社会についての啓発を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展</p> <p>6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館 10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内)</p> <p>○講演会</p> <p>・8月6日(火) タイトル：【私らしく、自分らしく、ありのままに ～だれもがどれも選べる社会に～】 講師：三遊亭 藍馬 氏 参加者：186名 年代別内訳：20代以下 4.6%、30代 10.6%、40代 0%、50代 0%、60代 0%、70代 84.8%、無回答 0%</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 できた (8割以上)</p> <p>講演会では、186名の方に来場をいただいた。 アンケートから、「講演会に参加して人権問題について関心や理解は深まりましたか」の問いについて、70.2%の方から深まった旨の回答を得た。</p> <p>各公民館担当者と連携して、チラシを様々なサークル活動団体の方に参加呼びかけを行った。</p>

【委員会の評価】

--	--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進
施策の方向：	(1)	地域活動への男女共同参画の推進
具体的施策：	②	市報等を通じて、男女共同参画に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて、地域活動における男女共同参画を推進する情報を発信する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展・講演会 ・別記のパネル展や講演会を実施した。</p> <p>○市報たいない ・6月1日号【男女共同参画週間】 ・2月1日号【男女共同参画情報】</p> <p>ほか、講演会情報や各種週間、他市や他団体の研修会案内を掲載。</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 できた (8割以上)</p> <p>6月の「男女共同参画週間」などの各種週間を市報たいないへ掲載した。 また、2月に特集号を作成し、オールド・ボーイズ・ネットワークについて啓発をした。 今後も、男女共同参画についての情報を発信を続けたい。</p>

【委員会の評価】

<p>・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。(R3)</p>

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進
施策の方向：	(2) 防災分野における男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
14	防災士に占める女性の割合	7.2%	15.0%

【事業名・内容】

事業名	自主防災活動における女性の参画促進	事業の対象
地域の防災活動において、多様な意見等を反映させるため、地域の方針決定過程への女性の参画を促進するとともに、女性防災士の育成を図る。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	防災士に占める女性の割合9.2% (全体183人中17人) 女性割合は少しずつ増加傾向にあるものの、目標には至っていない状況。		
検証 ※事業担当課が事後記入	<table border="1"> <tr> <td>推進事業の達成度</td> <td>おおむねできた (6~7割程度)</td> </tr> </table> <p>災害時の避難所運営等において女性の視点による多様な意見を反映させるためにも、各自治会で防災士を養成する際には女性に積極的に声がけいただくことなどを依頼していきたい。</p>	推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割程度)
推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割程度)		

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・防災士について、女性の方は何名いるか記載があるとよい。(R3) ・全国で災害が多発しているので、将来的には必要とされる機会が増えると思う。これからの女性の防災士の育成に期待する。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進
施策の方向：	(2)	防災分野における男女共同参画の推進
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
15	女性消防隊員数 (女性消防団員含む)	11人	15人

【事業名・内容】

事業名	災害対策の方針決定過程等への女性の参画促進	事業の対象
防火知識や応急処置技能を取得した女性消防隊員を確保するとともに、男女共同参画の視点を踏まえた災害対策の検討の場において、女性消防隊員の参画を促進する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・地域の自主防災組織等の訓練に講師として参加し、AED心肺蘇生、応急救護等について指導・説明を行った。 5/12若松町第一 (4名)、6/16鎌江 (3名)、6/23乙 (4名)、8/25横道 (4名)、9/8市防災訓練(6名)、9/29新栄町 (2名)、10/20西条町2他2集落 (2名)、10/27つじが丘 (3名)、11/17若松町第一 (3名) ・令和6年度 女性消防隊員10名	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割程度)
・女性消防隊は、主に火災予防の啓発や、消防団や自主防災組織を対象とした救命講習会においてAED心肺蘇生法の指導を行っている。 ・各行事後に女性消防隊員の会議を行っているため、女性消防隊の気付きを活かし、男女双方の視点を持った取組みを推進していく。		

【委員会の評価】

・女性消防隊員も増員となるように育成をお願いしたい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(1) 男性の育児・家事・介護への参画促進
具体的施策:	④ 夫婦で協力し合い、出産・子育てができるよう、パパママ学級を実施します。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	パパママ学級	事業の対象
妊婦とその夫を対象に、妊娠中の前期と後期の2回実施する。講義や沐浴体験などの実習、参加者同士のグループワークを行い、夫婦が協力し合って子育てができるよう支援する。悩みを抱えている妊婦が増加しているため、後期に個別相談を実施。		妊婦とそのパートナー

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	教室は前期・後期を1クールとして、4クールを実施した。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 できた (8割以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初産妊婦ではパートナーと一緒に参加するケースが多い。 ・パパママ学級では、赤ちゃん人形を用い、おむつ交換や抱っこの仕方、沐浴方法などを体験してもらうことで、実際の育児手技がイメージもしやすくなっているように思う。また、夫婦での子育ての役割や男性の育児休暇等についてグループワークのテーマにしたり、各種制度についても情報提供し、夫婦で協力して子育てしていけるよう意識づくりに努めた。 ・参加者からは、ママ同士、パパ同士の交流や情報交換を求める声が多く、今後も出産や子育てに向けた不安の解消やつながりづくりのために事業を継続実施したい。 ・都合が合わない、個別で相談したいという妊婦には、個別対応した。 ・事業の名称については、令和7年度より変更予定である。

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・パパママ学級で習う事は沐浴やオムツの替え方などであると考えられるが、動画配信サイトなどで簡単に観られると思うので、その他に育児休暇の取得方法や制度の周知を盛り込むなど、工夫した内容を検討してはどうか。(R4) ・パパママ学級の名称について、現代社会に即しているか検討されてはどうか。(R5)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいききと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(1)	男性の育児・家事・介護への参画促進	
具体的施策:	②	講演会やパネル展を通して男性の家事・育児・介護への参画を促します。	
	④	市民・企業に対し講演会やセミナー等を通じて長時間労働の抑制や年休取得等の啓発を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男性向け男女共同参画セミナー	事業の対象
女性財団との共催の地域セミナー等を通じて、市民・企業に対し、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催し、男性にとっての男女共同参画の意義を啓発する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	令和6年度は、男性向け男女共同参画セミナーを実施できなかった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できなかった(3割以下)
	・令和6年度は、例年の地域セミナーを実施する時期（秋頃）で第4次胎内市男女共同参画プランの策定をしていたためセミナーを実施できなかった。来年度以降は実施したい。 ・セミナーは実施できなかったが、県や女性財団主催のセミナーについては、市報やチラシで周知した。	

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(1) 男性の育児・家事・介護への参画促進
具体的施策:	③ 市報等を通じて、事例等を紹介し意識啓発に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて男性の育児・家事・介護への参画を促進するためのコラム等を紹介し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入 ○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内) ○市報 市報たいたいへ特集記事を掲載するためにハッピー・パートナー企業に依頼をした。(商工観光課)	推進事業の達成度	できた(8割以上)
検証 ※事業担当課が事後記入 ○パネル展 令和6年度は、計5社のハッピー・パートナー企業からパネルを作成していただき、2回のイベントで展示した。市内業者の名前があると来場者が興味を持ちやすいので、良い取組だと思う。今後も継続していきたい。 ○市報 市報たいたい令和7年5月合併号へ特集記事を掲載できた。(商工観光課) 【育児休業は男性も取得できます ～育児休業制度を活用しましょう!～】		

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(2) 男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知
具体的施策：	② 地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	地域子育て支援センター事業	事業の対象
地域での子育てを支援するため、ほっとHOT中条と市内の保育園、認定こども園に「地域子育て支援センター」を設置し、遊びの場の提供や親子の交流の場の提供、育児相談、育児講座を実施する。		就学前の親子

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターにおいて、親子の交流の場の提供、遊びの提供を行ない、定期的に子育て講座や子育てに関する相談を実施した。 一部の子育て支援センターにおいて、定期的に出張ひろばや出前保育を実施した。 総務課男女共同参画事業と合同で年2回「親子ふれあい事業」を実施。その際、男女共同参画についてのリーフレットを配布するとともに、パネル展示した。 (パネル展は、総務課の都合により、10月のみ実施)
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">できた (8割以上)</div> <ul style="list-style-type: none"> 親子で触れ合う時間、場所を保障することにより、子育ての孤独化を防止し、子育ての楽しさを保護者同士で共感することができた。 土日、休日には父親同士で子育て支援センターを利用する姿が頻繁にみられるようになった。父親も子育てを楽しむことができるような情報をこれからも発信していきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課 総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(2) 男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知
具体的施策:	② 地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業、子育て支援事業	事業の対象
<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児とその保護者・妊婦を対象に、子育て支援イベントを年2回開催する。 ・「親子ふれあいコンサート」を、総務課「男女共同参画事業」と共同で開催する。 ・「親子ふれあい広場」を開催する。 	未就園児と保護者、妊婦	

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおいて、親子の交流の場の提供、遊びの提供を行ない、定期的に子育て講座や子育てに関する相談を実施した。 ・一部の子育て支援センターにおいて、定期的に出張ひろばや出前保育を実施した。 ・総務課男女共同参画事業と合同で年2回「親子ふれあい事業」を実施。その際、男女共同参画についてのリーフレットを配布するとともに、パネル展示した。(パネル展は、総務課の都合により、10月のみ実施) 	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>できた(8割以上)</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で触れ合う時間、場所を保障することにより、子育ての孤独化を防止し、子育ての楽しさを保護者同士で共感することができた。 ・土日、休日には父親同士で子育て支援センターを利用する姿が頻繁にみられるようになった。父親も子育てを楽しむことができるような情報をこれからも発信していきたい。 	できた(8割以上)
できた(8割以上)		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(2) 男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知
具体的施策：	③ ファミリーサポートセンターにおいて、仕事と家庭生活の両立を支援するとともに、子育ての不安や負担の軽減を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業の対象
地域において、子育て家庭の仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい環境をつくることを目的として、「子育ての応援を受けたい方(依頼会員)」と「子育てを応援できる方(提供会員)」の、会員同士の相互支援活動を実施する。		<依頼会員> 子育て家庭 <提供会員> 市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ファミリーサポートセンター会員数：令和6年3月（令和5年3月）、依頼会員235名（240）・提供会員68名（65） 両方会員11名（15） 利用数：令和6年度311件・令和5年度594件		
検証 ※事業担当課が事後記入	<table border="1"> <tr> <td>推進事業の達成度</td> <td>できた（8割以上）</td> </tr> </table> <p>・ファミリーサポートセンター利用の内訳としては、令和6年度は保護者等の外出の場合の預かり36%、学童保育の送迎13%、子どもの習い事等の送迎13% 保護者等の短時間・臨時的就労の預かり10%であった。（令和5年度は保護者等の外出の預かり24% 保護者等の短時間・臨時的就労の預かり20% 保護者の病気、その他急用の場合の預かり19% 学童保育への送迎9%、子どもの習い事等の送迎8%であった。） 利用内訳から、保育所・学校の送迎が減少し、保護者等の外出時に利用されるケースが多くなってる。利用回数は年々下降しているが、市民にはファミリーサポートセンターは周知されており、園行事の際の預かりなどが増加している。</p>	推進事業の達成度	できた（8割以上）
推進事業の達成度	できた（8割以上）		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向:	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策:	④	地域子育て支援センターの様子や男女共同参画の視点を取り入れた遊びの紹介、子育て情報などを掲載した情報誌の発行、ホームページへの掲載、子育て情報メールの発信に努め、様々な子育て情報の周知を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	子育て情報誌の発行、子育て情報メールの配信及びホームページの掲載	事業の対象
子育て通信「にこにこ」、子育て情報メール、ホームページにて、地域子育て支援センターに関する情報、子育てに役立つ情報、子どもの健康に関する情報、男女共同参画の視点を取り入れた子育て情報などを発信する。 子育て通信:月1回発行 子育て情報メール:定期配信月1回、臨時配信:随時 ホームページ:通年		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 各月1回以上定期的に子育て情報メールを配信し、子育てに役立つ情報について周知した。 各子育て支援センターにおいて、支援センターだよりを定期的に発行した。 子育て情報誌「にこにこ」を月1回発行するとともに市のホームページに掲載をした。 子育てに役立つ情報等について、子育て情報を母子モにて配信し周知を行った。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報メール、子育て情報誌「にこにこ」とともに、昨年度と同じ内容にせず、常に新しい情報発信を心がけた。 	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(3) 男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知
具体的施策：	① 介護保険制度の利用者及びその家族が自ら制度を選択できるように市報やホームページ等を活用して、周知します。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	市報、ホームページへの掲載	事業の対象
要介護認定者等やその家族が、介護保険サービスを利用する際に自らサービスを選択できるように市報やホームページ等を通じて介護保険制度やサービス内容等を周知する。		要介護認定者等やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	ホームページに設置の介護保険制度に関するページの更新 市報7月1日号に介護保険料についてのリーフレット折込 10,374部 「高齢者福祉・介護予防・介護保険サービス便利帳」の活用		
検証 ※事業担当課が事後記入	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">推進事業の達成度</td> <td style="text-align: center;">できた (8割以上)</td> </tr> </table> <p>介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みであり、制度やサービス内容について市民等へ継続的に周知することが重要である。 市報および市ホームページ、「高齢者福祉・介護予防・介護保険サービス便利帳」等の複数の媒体を通じて情報提供を行うことで、介護保険制度およびサービス内容に関する基礎情報を市民が継続的に入手できる体制を構築しており、本事業の目的に沿った取組が実施されている。</p>	推進事業の達成度	できた (8割以上)
推進事業の達成度	できた (8割以上)		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(3) 男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知
具体的施策：	② 要介護認定等結果送付時に、サービス案内等記載されたパンフレットを同封します。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	パンフレットの送付	事業の対象
要介護認定の結果通知等を送付する際に、サービス案内等が記載されたパンフレットを同封する。		要介護認定者等 やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	認定結果送付時に介護サービスの種類や利用方法等を記したチラシを同封 1,311件		
検証 ※事業担当課が事後記入	<table border="1"> <tr> <td>推進事業の達成度</td> <td>できた（8割以上）</td> </tr> </table> <p>要介護認定結果通知の送付という、介護保険サービスを検討する上で重要な時期に、認定対象者全件に対して介護サービスの種類や利用方法等を記したチラシを同封し、適切なタイミングで情報提供を行っている。</p>	推進事業の達成度	できた（8割以上）
推進事業の達成度	できた（8割以上）		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向:	(3) 男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知
具体的施策:	③ 適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行います。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
18	要介護(要支援)認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	高齢者福祉相談	事業の対象
市内4か所の地域包括支援センターに高齢者総合相談窓口を開設し、医療・介護・福祉に関する相談に応じます。		高齢者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	高齢者総合相談(市内4包括支援センター・健康長寿推進係合計)年間延13,518件	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)
	介護や福祉サービス等の支援が必要な高齢者に対して、適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行うことにより、家族等の介護負担の減少や家庭と仕事の両立につながっているものと思われる。 また、高齢者やその家族にとって、専門職とつながることで何か困った時にいつでも相談できるという安心感も提供している。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	Ⅲ	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(1)	男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策:	①	保育園、こども園において、0歳児から5歳児の乳幼児の受け入れ、早朝保育、延長保育、休日保育等による保育時間延長を継続し、保護者が安心して働ける環境の整備を図ります。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	延長保育事業・休日保育事業	事業の対象
	就労形態の多様化により、保育標準時間認定(11時間)または保育短時間認定(8時間)を超える就労に対応する延長保育サービスを各園で実施する。 休日の預かりについては、日曜日および祝日に、保護者の就労などの都合により、家庭で保育が困難な場合に実施する。	保育施設における支給認定児童

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	保護者の就労形態に伴った保育サービスを提供し、必要に応じて延長保育等についても利用希望者の要望にも応えることができた。 なお、現状においては休日保育利用希望者はいない。		
検証 ※事業担当課が事後記入	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">推進事業の達成度</td> <td style="text-align: center;">おおむねできた(6~7割)</td> </tr> </table> <p>就労形態の多様化に可能な限り応えられる体制整備について考慮する。</p>	推進事業の達成度	おおむねできた(6~7割)
推進事業の達成度	おおむねできた(6~7割)		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備
施策の方向：	(1)	男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策：	②	県や市が主催するセミナー等の情報提供を行います。
	③	6月の男女雇用機会均等月間時に市報等で周知をします。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	男女雇用機会均等法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して男女雇用機会均等法などの普及啓発に努め、そぐわない慣行や慣例の撤廃や改善を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日（月）～6月13日（木）市役所ロビー ○チラシ関係 チラシ掲示：複数回	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 上記パネル展において、ハッピー・パートナー企業の取り組みパネル以外に「男女雇用機会均等法」に関するパネルを展示した。また、県等からのセミナー情報のチラシを庁内に設置をした。	おおむねできた（6～7割程度）

【委員会の評価】

・【実施・成果のデータ】の内容が、事業名にそぐわないと思われる。「職場環境や制度等の整備に利用できる補助金（育てる支援事業）」についてが、【実施・成果のデータ】に記載し、その実施状況を【検証】に記載だとよい。(R6)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(2) ハッピー・パートナー企業への登録促進
具体的施策:	① 県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	育児・介護休業法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して育児・介護休業法等の普及啓発に努め、職員が休暇をとりやすく働きやすい職場環境の整備を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・メルマガ配信 1回 ・男性育休推進記事の作成
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 おおむねできた (6~7割程度)</p> <p>男性育休に関するセミナーについてメルマガで配信を行ったほか、市内企業で男性が実際に育休を取得した記事を作成した。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(2) ハッピー・パートナー企業への登録促進
具体的施策:	① 県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数(累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
県と連携し、ハッピー・パートナー企業の取組等をホームページ等で紹介する。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内) ○市報 市報たいたいへ特集記事を掲載するためにハッピー・パートナー企業に依頼をした。 (商工観光課)	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>できた(8割以上)</td></tr></table> ○パネル展 令和6年度は、計5社のハッピー・パートナー企業からパネルを作成していただき、2回のイベントで展示した。市内業者の名前があると来場者が興味を持ちやすいので、良い取組だと思ふ。今後も継続していきたい。 ○市報 市報たいたい令和7年5月合併号へ特集記事を掲載できた。(商工観光課) 【育児休業は男性も取得できます ～育児休業制度を活用しましょう!～】	できた(8割以上)
できた(8割以上)		

【委員会の評価】

・ハッピー・パートナー企業として取り組み事例やメリットを市報に掲載してはどうか。(R3)
--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標:	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(2) ハッピー・パートナー企業への登録促進
具体的施策:	① 県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数 (累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	ハッピー・パートナー企業の登録促進	事業の対象
関係機関への呼びかけや企業訪問により、ハッピー・パートナー企業への登録を推進し、男女共同参画の推進を図る。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 10月17日(金) 胎内市総合体育館(親子ふれあいコンサート内) ○市報 市報たいないへ特集記事を掲載するためにハッピー・パートナー企業に依頼をした。 (商工観光課)	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>おおむねできた(6～7割)</td></tr></table> 令和6年3月末時点で胎内市のハッピー・パートナー企業の登録数が25社となり、目標を達成できた。 令和7年度から、ハッピー・パートナー企業登録制度が廃止され、新たに新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度(Ni-ful(ニーフル))が開始されるので、準備を進めていきたい。	おおむねできた(6～7割)
おおむねできた(6～7割)		

【委員会の評価】

・胎内市としてハッピー・パートナー企業登録のメリットを増やしてはどうか。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】
- 協働目標
 - 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(2) ハッピー・パートナー企業への登録促進
具体的施策:	② ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
20	ハッピー・パートナー企業登録数(累計)	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	交流機会の提供	事業の対象
ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努める。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	交流会等は実施していない。
検証 ※事業担当課が事後記入	過去の推進委員会で、ハッピー・パートナー企業登録を増やす→各企業の要望調査→検討・計画→実施で話し合われていた。現在登録社数が増えてきたところだったが、ハッピー・パートナー企業登録制度が廃止となる。今後は再度、新制度を周知することから始めていきたい。
	推進事業の達成度
	できなかった(3割以下)

【委員会の評価】

・ハッピー・パートナー企業同士で男性の育児休暇の取得率や、女性がどういう風に活躍できるのか、など情報共有できる場を提供していただきたい。(R4)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向：	(3) 女性に対する再就職支援の推進
具体的施策：	① 企業への啓発として、女性の再就職、起業等のための情報提供や支援を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	女性の求職者に対する求人情報の提供	事業の対象
ハローワークや商工会と連携して女性の求職者に対する求人情報を積極的に提供する。		女性の求職者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	女性の再就職向けに関するチラシ掲示 複数回
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 あまりできなかった (4~5割程度)</p> <p>関係機関から提供される女性の再就職向けに関するチラシを庁内に設置したほか、中小企業等支援事業補助金（育てる支援事業・福利厚生支援費）の活用を促し、女性が働きやすい職場づくりの整備を推進していきたい。</p>

【委員会の評価】

・情報誌提供以外にも何か実施したほうが良いのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課
	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向：	(3) 女性に対する再就職支援の推進
具体的施策：	② 子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を実施する。		女性

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> 再就職セミナーは実施していない。 女性の再就職関係に限らず、県や女性財団が実施している各種研修会は市報たいないへ掲載している。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 あまりできなかった (4~5割程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再就職だけに焦点を当てたセミナーについては、対象者が限られる。第4次計画では再就職に加え、能力開発等も視野も入れて研修会を企画する方向で実施しようと思う。 年々、市報たいないの提出期限が早くなっており、案内が届いたときには既に掲載が間に合わない状況となっていることが多い。関係機関と調整したい。

【委員会の評価】

<ul style="list-style-type: none"> セミナーを開催できないときは、啓発冊子発行やオンラインに切り替えるなどしてはどうか。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向:	(3) 女性に対する再就職支援の推進
具体的施策:	③ ハローワーク等からの情報を収集して支援に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	求職者と企業等に対する周知と啓発	事業の対象
ハローワークや商工会と連携して女性の求職者や雇用主に国等の支援を周知する。		女性の求職者、雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	ハローワーク等の関係機関からのチラシやポスターの掲示及び設置 複数回
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">あまりできなかった(4~5割程度)</div> <p>ハローワーク等の関係機関からのチラシやポスターを庁内に設置し、情報提供に務めた。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅳ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(1) 生涯を通じた男女の心と体の健康支援
具体的施策:	① 特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するよう努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
22	特定健診の受診率	45.4%	60.0%

【事業名・内容】

事業名	特定健康診査	事業の対象
特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するように支援します。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診(集団健診5月~11月 2,410人、施設健診8月~1月 10人、国保加入者の特定健診受診率48.3%) ・集団健診受診者(国保加入者や30代の市民、後期高齢者の75歳) 1,435人を対象として、特定健診結果説明会、訪問、来所相談または電話相談により1,352人に保健指導を実施。 ・特定健診時に「こころの健康」に関しての質問と相談希望を取り、結果説明会、訪問、電話等で個別対応を実施した。85人中83人に対応した。 	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 集団健診対象者には結果説明会などを通して自分の健診結果を振り返る機会にしている。 特定健診受診時に「こころの健康に関して」の質問の実施と相談希望を確認し、個別対応を実施した。「相談先がわからない」「相談相手がいない」という人が希望してくるため今後も継続して実施していく必要がある。	できた(8割以上)

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(2)	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の普及・啓発
具体的施策:	①	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する情報を市報等で発信し啓発に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等により性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する情報を発信し啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○市報 ・令和6年度は掲載なし(令和5年度に特集記事) ○パネル展 ・8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 今年度は、別の話題を取り上げたため、市報は掲載していない。 パネル展での、パネルで啓発した。	あまりできなかった(4~5割)

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(2)	性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の普及・啓発
具体的施策:	③	赤ちゃんふれあい教室を実施し、命の尊さを学び、子育てへの価値観を高めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	赤ちゃんふれあい教室	事業の対象
中学生を対象に年1回開催。講義や妊婦疑似体験、子育て中の母へのインタビュー、乳児とのふれあいを通じ、命の大切さや子育てへの価値観を高める。		中学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	夏休み期間中に1回開催。 参加者：8人 従事者：助産師、保健師、養護教諭等 内容：講話、グループワーク、子育て中の母親へのインタビュー、赤ちゃんとのふれあい遊び等
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: center;">推進事業の達成度</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">できた(8割以上)</div> <p>・各中学校への事業の周知や参加の声かけを行い、遠方からの参加者には送迎車の手配をするなど参加しやすい環境づくりに努めた。 ・参加者からは「生命の尊さを学ぶことができた」「育児は大変というイメージがあったが、大変ながらも楽しくやりがいがあるというイメージに変わった」などの声が聞かれ、今後も継続して事業実施していきたい。</p>

【委員会の評価】

・「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)については女性の人権の重要な一つである。啓発については総務課担当でいいが、具体的事業を健康づくり課、テーマによっては学校教育課等が担当すべき。そのためには担当課職員が「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を正しく理解し、その視点を持った具体的事業の実施が必要。生涯にわたる健康では思春期も更年期等もある。心と体の健康支援については健康相談業務の実施が必要。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(3)	性に対する正しい知識の啓発
具体的施策：	①	学校教育のさまざまな機会において、効果的な学習が行われるように、発達段階に応じた適切な指導の充実を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	性に関する教育の実施	事業の対象
	学習指導要領に基づく体育や保健体育の授業において、養護教諭等はじめ関係機関等と連携を通して授業実践の充実を図る。	児童・生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・小中学校での特別活動や特別の教科「道徳」、総合的な学習の時間、体育（保健体育）、宿泊行事等の学校行事をはじめとする教育活動を年間計画に適切に位置付け、児童生徒の発達段階に応じた性に関する正しい知識と行動選択を学ぶ機会を提供することができた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程度）
	・インターネットやSNS等の性に関する影響が大きいことを勘案して、保護者等を巻き込んだ継続的なメディアコントロールの啓発がより大切になってくる。 ・性に関する正しい理解は児童生徒を取り巻く大人たちの影響が大きいことから、地域・社会全体で正しい理解の啓発のために、関係機関・団体との一層の行動連携に努めていく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅳ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向:	(3) 性に対する正しい知識の啓発
具体的施策:	② 児童生徒の保護者を対象に性に関する学習会の機会を提供します。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	事業の内容	事業の対象
保護者会等での学習会	小・中学生の子を持つ保護者を対象に性に関するセミナーを開催する。	保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○セミナー 実施なし ○市報 ・5月1日号【人権コラム 多様な性を考えてみませんか?】 ・1月1日号【デートDV】
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 あまりできなかった(4~5割) 保護者と子どものみを対象とするセミナーは実施できなかった。 小中学校の学習指導要領教育や第3次計画の課題、昨今の社会意識変化を踏まえて施策等を見直し、第4次計画を策定した。

【委員会の評価】

・セミナーを開催できないときは、啓発冊子発行やオンラインに切り替えるなどしてはどうか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(1)	ドメスティック・バイオレンス(DV)の根絶と防止に向けた啓発
具体的施策:	①	DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催します。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館 ○市報 ・7月1日号【24時間DV・セクハラホットライン】 ・8月合併号【全国一斉『こどもの人権相談』強化週間】 ・1月1日号【デートDV】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた(8割以上)	
	上記啓発を実施できた。 今後も社会的課題に応じた啓発を実施しようと思う。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(1)	ドメスティック・バイオレンス(DV)の根絶と防止に向けた啓発
具体的施策:	②	市報等によりDV防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
年間を通じて、市報等によりDV防止のための啓発や相談窓口の周知に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館 ○市報 ・7月1日号【24時間DV・セクハラホットライン】 ・8月合併号【全国一斉『こどもの人権相談』強化週間】 ・1月1日号【デートDV】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px;"></td></tr></table> 上記啓発を実施できた。 今後も社会的課題に応じた啓発を実施しようと思う。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3)
 ・市報を利用し、「それ、DVですよ!!」「誰に食わせてもらっているんだ!!」「何もできないくせに(収入がない)」など、ショッキングではあるが目を引くような文言で、中学生が理解できるような内容で周知・啓発されたい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(2)	あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発
具体的施策:	①	あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための市民や企業向けの講演会やセミナー、パネル展を開催します。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	○パネル展 6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー 8月6日(火) 産業文化会館 8月22日(木) 産業文化会館 ○講演会・セミナー 実施なし	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 ハラスメントについては、令和2年度のセミナーが最後となっている。 ハラスメントの問い合わせも増えているので、令和8年度にセミナーを実施予定。	おおむねできた(6~7割程度)

【委員会の評価】

・参加者数だけでなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(2)	あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発
具体的施策:	②	市報等によりあらゆるハラスメントに対する防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等によりあらゆるハラスメントの防止のための啓発や支援情報、相談窓口の周知に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展</p> <p>6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー</p> <p>8月6日(火) 産業文化会館</p> <p>8月22日(木) 産業文化会館</p> <p>○講演会・セミナー</p> <p>実施なし</p>
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度</p> <p>おおむねできた(6~7割)</p> <p>ハラスメントについては、令和2年度のセミナーが最後となっている。</p> <p>ハラスメントの問い合わせも増えているので、令和8年度にセミナーを実施したい。</p>

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行+A21+A1:A1:H31

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向:	(3)	女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化
具体的施策:	①	市報等により国や県、市、民間団体の相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等による国や県、民間団体の相談窓口の周知に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<p>○パネル展</p> <p>6月10日(月)～6月13日(木) 市役所ロビー</p> <p>8月6日(火) 産業文化会館</p> <p>8月22日(木) 産業文化会館</p> <p>○市報</p> <p>・7月1日号【24時間DV・セクハラホットライン】</p> <p>・8月合併号【全国一斉『こどもの人権相談』強化週間】</p> <p>・1月1日号【デートDV】</p>	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>できた(8割以上)</td> </tr> </table> <p>上記の窓口や強化月間等に関して、今後も市報への掲載を続けていく。</p>	できた(8割以上)
できた(8割以上)		

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R6
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向：	(3)	女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化	
具体的施策：	②	人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努めます。	
	③	関係機関と連携を図り、相談窓口の充実と強化を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	関係機関との連携強化	事業の対象
人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・人権擁護委員による特設人権相談（市内）：計4回 ・新潟県の担当者会議等への参加	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 例年どおり上記の実施・参加ができた。 今後も引き続き継続していきたい。	できた（8割以上）

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(4) 児童虐待防止策の推進
具体的施策：	① 児童家庭相談窓口において、保護者等からの相談対応を行います。また、学校や保育園（こども園）、児童相談所等の関係機関と連携し、児童や保護者への支援を行います。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	児童家庭相談窓口	事業の対象
児童家庭相談窓口を設置し、保護者や学校・保育園（こども園）等からの相談対応を行う。		保護者等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭相談窓口を設置して、保護者や関係機関からの相談に対応した。相談案件数 62件 内訳：養護相談 38件（児童虐待相談 17件、その他の養護相談 21件） 保健相談 5件、障害相談 4件、非行相談 1件、育成相談 14件 ・指標にある「児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人」の割合については、令和6年度中にこども支援課でアンケートを実施。
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>男女共同参画の視点で、事業を実施することが できた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健部署と同一係内に窓口を設置しているため、妊娠届時から情報把握が可能であり、子育てに関する相談に早期から対応することができている。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	IV 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(4) 児童虐待防止策の推進
具体的施策：	② 市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、啓発や相談窓口の周知を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	児童虐待防止に関する啓発、窓口の周知	事業の対象
	市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、併せて児童家庭相談窓口の周知を行う。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	<ul style="list-style-type: none"> ・「市報たいない」へは、隔月で啓発記事を掲載した。 ・児童虐待防止推進月間に、関係機関にポスター掲示の依頼、リーフレットの配布を行った。 ・2歳児歯科健診で児童虐待防止のリーフレットを保護者に配布した。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することができた ・市報のほか、母子保健事業やホームページへの掲載等を通じて啓発活動を行うことができた。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(1)	複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進
具体的施策:	①	それぞれが抱える様々な困難について、気軽に安心して相談ができる「福祉まるごと相談窓口」の充実と周知を進めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	福祉まるごと相談窓口の開設	事業の対象
まるごと相談員3名が、生活困窮や高齢、障がいなど福祉に関する生活上の様々な困りごとの相談に応じる相談窓口を開設し、関係部署等とも連携しながら解決策を一緒に探り、必要とする支援へつなげる。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	福祉まるごと相談窓口 年間延相談件数 実42人、延81件	
検証 ※事業担当課が事後記入	<p>推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>できた (8割以上)</td></tr></table></p> <p>相談者の年代は20代~80代と幅広く、健康障害や家族との関係、生活困窮、介護に関すること等の問題を抱えた人に対し、解決策を一緒に探り、必要な支援につなげることで、安心して暮らすことのできる環境の整備が行えており、相談者のたらい回しの防止の観点からも必要な事業である。</p>	できた (8割以上)
できた (8割以上)		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち	
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(1)	複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進
具体的施策:	②	関係機関との連携を図り、地域や社会資源を活用し、自立に向け状況に応じた支援を行います。

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	生活困窮者自立支援ネットワーク会議	事業の対象
弁護士、就労支援関係者、高齢・障がい福祉関係者、社会福祉法人の職員、医療関係者、民生児童委員、ボランティア団体、市の関係課職員を構成員とし情報交換・連携強化を推進する会議を年2回開催する。		関係機関

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	R6年7月、R7年2月、年2回会議を開催。委員22名。出席委員延べ人数：39人	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)
	生活保護及び生活困窮者自立相談支援事業等の実施状況報告を行ったほか、国の動向や当市における対応、生活困窮者向けの施策事業の説明やこどもの居場所づくりについて検討を行い、情報交換した。現状把握と問題認識の共有、連携強化を図る観点からも必要な事業である。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	②	ひとり親家庭等に対して児童扶養手当を支給し、生活の安定と自立の促進を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	児童扶養手当	事業の対象
離婚などにより、ひとり親となった方や、親に代わってその児童を養育している方への支給を行う。 ※支給の対象者は、児童を監護しているひとり親家庭の親。または、父母のいない児童を養育している養育者。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 (政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満)		ひとり親家庭等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	奇数月に、約200人の受給者に対して手当の支給を行った。		
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)	
	所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象ではないが、保護者の経済的負担の軽減となり、児童の生活の安定と自立につながっている。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	③	父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	子ども医療費助成	事業の対象
子どもの医療費の一部助成を行う。 ※助成の対象は、通院・入院とも18歳の3月末日まで 自己負担額…保険適用分のみ助成対象 通院：1回530円 (1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円) 入院：1日1,200円	高校生までの児童	

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・年度の切替り時に約3,000人更新し、その都度新規、変更等の手続きの対応をした。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)
	・親の所得等の制限がなく、すべての児童が受給対象となり、保護者の経済的負担の軽減となっている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標:	IV	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり	
重点目標:	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向:	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策:	③	父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準(H30)	目標(R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	ひとり親家庭等医療費助成	事業の対象
ひとり親家庭等の医療費の一部助成を行う。 ※助成の対象は、健康保険に加入しているひとり親家庭の親と児童。または父母のいない児童を養育している養育者と児童。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 (政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満) 自己負担額…保険適用分のうち 通院: 1回530円 (1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円) 入院: 1日1,200円 ※所得制限により、医療費助成が受けられない場合もある。	ひとり親家庭等	

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・年度の切替りに約400人更新し、その都度新規、変更等の手続きの対応をした。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>できた(8割以上)</td></tr></table> 所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象ではないが、保護者の経済的負担の軽減につながっている。	できた(8割以上)
できた(8割以上)		

【委員会の評価】

--	--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅳ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(2) ひとり親家庭等への支援
具体的施策:	④ 就業に結び付きやすい資格取得のため、養成機関において修業した際に、修業期間の生活費を支給し、生活の安定と経済的自立の促進を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	高等職業訓練促進給付金等支給事業	事業の対象
ひとり親家庭が、養成機関で看護師等の資格取得に向けた1年以上のカリキュラムを受講する場合、48か月を上限に給付金の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	実績なし(申請者が居なかった)
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">推進事業の達成度 できなかった(3割以下)</p> <p>案内については適正に実施したが、希望者が居なかったため、案内のタイミング等を検討する。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

- 【目標区分】 協働目標
 推進目標

年度	R6
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ:	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標:	Ⅳ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた環境づくり
重点目標:	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向:	(2) ひとり親家庭等への支援
具体的施策:	⑤ 主体的な能力開発の取組の支援として、就業に結びつくと考えられている教育訓練講座の受講費の一部を助成し、経済的自立の促進を図ります。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	自立支援教育訓練給付金支給事業	事業の対象
ひとり親家庭の親が、教育訓練講座を受講した場合の経費の一部の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	実績なし(申請者が居なかった)
検証 ※事業担当課が事後記入	<p style="text-align: right;">推進事業の達成度 できなかった(3割以下)</p> <p>案内については適正に実施したが、希望者が居なかったため、案内のタイミング等を検討する。</p>

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字: 事業担当課が事業実施(前)に記入する欄

赤字: 事業担当課が事業実施(後)に記入する欄